

常警新聞

定価 一月五圓 三月十三圓 半年二十五圓 一年五十圓

印刷所 常警新聞社

電話 六二一

八月一日夕刊

用糖化ホ

蝨石ニクカ

ツルヤ

電話 四四一

常警文藝

ささやき (感情詩) 吾妻奈美夫

陽は暮れて 森の彼方に 月の出し頃 木影にたゞづみて 若人はささやけり

おゝ神よ赦せ わが罪を...

今日は改め様 明日は改め様と 思ふわが罪を...

改め様となす わが罪の 日毎に深まり行く 悲しさ...

そして恐怖 そは弱者の 悲しさに 改めかねし...

おゝ神よ わが罪を赦せ...

一九二五年七月

常警論壇

二大政黨の對立 田中五郎

元來政黨の生命は主義政策にありて二つの異なる主義政策の對立といふことが立憲政治本來の面目である而してこの二つの異なる主義政策を代表するものが政黨である従つて政黨の離合集散は常に此二つの異なる主義政策に基きて行はるべきであつて其の結果は當然二大政黨の對立といふことにならなければならぬ然るに歐州大戰後に於て世界狀勢は小黨分立の形を呈したのであるが素より之は一時

召し上れ

安くて美しい

マツモトヤのピスケット

百々特價金二十錢

目丁四町平

ヤトモツマ

番四一二電

八月新譜到着

蓄音機とレコード

電話 六一一

行興大別特畫名的對絶ネキ帝

四海波靜 天下泰平

王様萬歳

少年天才ジャッキーカーガーン君

ノンキナ父サン

御觀 一等 七十錢 二等 五十錢 三等 三十錢

覽料

有聲座 電話 四四六番

演主子重八川歌・輔泰本松劇活大林森

全卷

てめ潜を血熱

茂森大明説

的の現象であつて結局は二大政黨の對立といふことに還元せらるゝのである蓋し主義政策の上に明白なる相異なき政黨は對立すべき理由を有せざるものであつて國家の政策は大体に於て右か左か二者その一つに決するのであるから主義政策に於て類似せる多數政黨の分立すると云ふことは何等の意味を有せぬ例へば英國の自由黨が今日凋落の境地にある所以のものは其の生命とする主義政策が統一労働兩黨の中間にありて極めて色彩に乏しくなつたことにある而も今更統一若しくは労働黨の何れの主義政

策に接近するも自由黨の存立を保持することは甚だ困難である然るに我國の政黨は其主張する政策は何れも似たり寄つたりのもので主義政策の上の區別は頗る明瞭を缺いてを而して其出所進退は何れも黨利にあらざれば黨略であり又政界の集合離散といふことも各人の利害關係からの打算に基づくものである即ち我國の政黨は公黨たるの資格なく私黨であり朋黨である従つて我國の間に一時政黨否認の思想が生れんとしたのも強ら無理からぬこと吾人は此際特に政黨の猛省を促さざるを得ない

逸獨 高級眼鏡

（メニスカス）

問「メニスカス」

ズを何ん

で皆さんが

お好みにな

るのです

答「掛け心地

が良くて眼

や脳へは絶

對弊害がな

く晴々する

からです」

平町一丁目

常盤屋

時計店

電話 三三九番

弊店眼鏡部は各國品多數取扱へ

電力應用で速時調整します

赤心堂病院

内科・外科・花柳病科

耳鼻咽喉科・婦人科

高久病院

内科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科

松村病院

内科・胃腸科・婦人科

十二指腸虫病科

花柳病科・X光線科

平町南町電話一〇七番

平町田町電話五二三番

赤心堂病院

平町田町電話四七五番

第拾營業報告

貨借對照表

資產 金額

未拂込資本金 三、七、五〇〇、〇〇〇

諸貸付金 四、〇、二、七、〇〇〇

他店へ貸 二、〇、六、九、〇〇〇

諸公債 九、四、一、五〇〇

株 三、〇〇〇、〇〇〇

貸付有價證券 六、〇、五、〇〇〇

營業用土地建物什器 二、九、〇〇〇、〇〇〇

所有不動産 六、五〇〇、〇〇〇

奥羽銀行同盟會基本金 二、五〇〇、〇〇〇

預ケ金現金 八、一、七、五、七〇〇

負債 金額

計 一、〇、七、五、一、〇六一

資本 金 五、〇〇〇、〇〇〇

諸積立金 三、〇〇〇、〇〇〇

諸預り金 四、〇、〇、七、五〇〇

第二種所得稅 三、三、八、二〇〇

他店ヨリ借 三、三、五、一、三〇〇

未拂利息 三、五、六、〇〇〇

未拂利息 一、六、五、二、九〇〇

未經過引料 三、四〇〇、〇〇〇

當期純益金 一、八、七、三、四九〇

計 一、〇、七、五、一、〇六一

利益金處分案

一金壹萬八千七百拾參圓四拾九錢也 當期純益金

一金壹千四百圓也

一金壹千五百圓也 法定積立金

一金壹千五百圓也 別途積立金

一金壹千五百圓也 建築積立金

一參百圓也退職給與積立金

一金七百參拾圓也

一金七千九百六拾八圓七拾五錢也 株主配當金

一金五千參百拾四圓七拾四錢也 後期繰越金

右之通りニ候也

大正十四年六月三十日

株式 四倉銀行

會社

頭取 吉田安之助

本社五の百 紀念三畫

ハイ取り競争
自轉車遠乗會
十字語判斷

三日早朝配
達さるべき
本紙五百號
紙上に依つ
て詳細御承
知あり度し

今年は蚊が多い

是れは下水堀が
不完全な爲めだ

平町各商店露臺の挿話の一つとして今年平町の蚊は昨年のそれに比して非常に多いとの事である而かも蚊ハイの孵卵期に於ける今年の降雨量は、昨年度より多量であるに拘らず何故に本年は昨年より蚊軍が大集襲來するのであらうか此れ等の露臺に涼味に浸る人々の言を藉りれば平町の下水道施設は當局が無定見と見られる程

均一店の賑ひ

これ等時代の相か……
サラリと一風呂浴びて軽い夕餉に涼を追ふ人そはせめてもの夏季に與へられた夕べの涼味情緒に浸る爲め本町通りに集ひ寄る

夏の夜の散策

均一店の賑ひ

これ等時代の相か……

サラリと一風呂浴びて軽い夕餉に涼を追ふ人そはせめてもの夏季に與へられた夕べの涼味情緒に浸る爲め本町通りに集ひ寄る

突破する勢ひ

百萬元を

鮭漁は近年稀な豊漁で殊に江名船の成績最もよく漁獲高は一隻平均一萬二千圓四倉船は、一萬圓、小名濱



家庭欄

なすの油いり

茄子の油いりを細問合せになつた方がありますから左にお知らせします。茄子に

崖下に轉げ

老人の惨死

石城郡内郷村大字白水不動澤炭礦坑夫新瀉縣生れ江口勝太郎(六)は去廿八日午前十一時半頃長男の家を訪ねんと同村地内崖の上に至り休息して居た際眼を廻して崖下に轉げ落ち助骨を折つて死亡した

稲作は大丈夫

野村技師が樂觀豫想

石城郡内の稲作豫想に就いて野村技師の語る處に依れば土用入り後の大切な處

臨海學校開始

平第一小學校の四倉海岸臨海學校は来る十一月より七日間開催出席児童四十名

子供の仕業

湯の宿の盜難

石城郡箕輪村高野の湯や入の湯に浴客の盜難頻發するが子供の仕業らしく或ひは是れを教唆して行はしむるは長茄子と、丸茄子とがあらります。油いりにはごちらでもよろしいのですが、長茄子の方は柔かたで丸茄子で致しますと、少し齒ごたい

なすの油いりを細問合せになつた方がありますから左にお知らせします。茄子に

常磐片々

平町の南裡道路は八方塞がり袋道、下水堀は膏藥張り間に合せ工事

是れでは平町の都市計劃も前途遠慮

それも其筈未だ已れの頭のハイさい追つた事がない

其處で本社は先づ徐ろに頭上のハイ群を驅逐しやがて來るべき都市計劃の第一歩に備ふべく「ハイ取り競争」を試む

四倉消防組の小頭減首

運 動

石城郡四倉町第一消防組員六十余名が連署の上同組小頭中村兵八郎外二名の排斥を其筋に陳情した事は既報の如くであるが其の後増子四倉署長は態度曖昧にして何等確答を與へないので同組員はこれが確答をうべく代表委員五名を挙げ三十

鮫川水路の復活は至難

石城郡鮫川水利組合委員七名は縣から出張し來つた技術者と共に廿八日から卅日迄水路を實査したが全く荒廢し盡して居る爲め復活は至難で渡邊村地内に溜池を

贅澤品に非ず

平町からも

扇風機は最早贅澤品ではなく商業及び日常生活に欠くべからざるものとなし平町からも扇風機の撤廢を縣當局に陳情すると因に平町に使用されつゝある扇風機は二百廿臺である

庭球の雪辱戦

平町庭球オービー俱樂部は二日植田町小學校々庭にて同町

庭球オービー俱樂部は二日植田町小學校々庭にて同町

募 集

文藝其他投稿を募集します

この十日間の生活を意義あらしめねばならぬ私共は限りない歡びと緊張した精神に日々の活動を續けて居ます

玉川消防協議

石城郡玉川村消防組にては去る卅日役場にて幹部會を開き左記事項を協議した

消防組共助規定制定の件
小兒水泳場監督の件、消防新聞整理の件、衛生上の活動援助の件、簿冊整理の件

磐女水泳部通信

小名濱から

こちらに來まして五日間といふものは毎日空は薄曇りして天日の光りをさし、それに潮流の關係とかで海水が冷たうありましたが、毎日午前午後一回づつ、磐中の山崎先生の御指導のもとに練習して居ます

出生

△三丁目三六 清水等氏長女女子

死亡

△三丁目三九 小島サヨ(七七)

△南町六六 當時石城郡小名濱町草野(七七)

△銀治町二九 吉田(二七)

△胡摩澤一〇〇 武田嘉兵衛(七八)

△田町二一 佐藤イネ(三七)

兎の耳

の錦星俱樂部と雪辱戦の意

味で試合する
一列車吹き飛ぶ
モロツコ、タンジ
ール特報によれば
フェス附近にて列
車全部烈風の爲め線路より
吹き飛され乗客十二名惨死
二十名負傷した

平町人事

△三丁目三六 清水等氏長女女子

△三丁目三九 小島サヨ(七七)

△南町六六 當時石城郡小名濱町草野(七七)

△銀治町二九 吉田(二七)

△胡摩澤一〇〇 武田嘉兵衛(七八)

△田町二一 佐藤イネ(三七)